



◆多様性のある議会の実現に向けて

1月27日（土）安曇野市で開かれたパリティカフェに参加し、女性や子育て世代、若い世代の議員を増やすことなどについて、白馬村議/田中さん、安曇野市議/小林さん（いずれも1期目）とパネルディスカッションをしてきました。



進行役の信州大学/勝亦先生より「単純に（女性議員などの）数が増えればいいのか？」との質問があり「考え方が違っていても聞き入れ、対話できる土壌が議会として大切」と答えました。

また、何かとネガティブなイメージもある議員という仕事について、やりがいと自分次第でいろいろなことができる可能性があること（クリエイティブな仕事であること）もお話してきました。

終盤には『議員はコレクティブインパクト（NPOや企業、政府などさまざまな団体が一丸となり、特定の社会課題を解決しようとする試み）を促す存在であるべきでは』との話題になりとても共感できましたので、これからも行政だけではなく、NPOや企業等様々な方々と協力しながら、上田をよりよくするために活動していきたいと思えます。

◆小中高生誰でも行ける地域の食堂

上田市常田の『おけまる食堂（仮）』におじゃましてきました。小中高生誰でも行ける（高校生以下無料！）地域の食堂で、毎週木曜日に食事を提供してくださっています。こちらの食堂の素晴らしいところは定期的な開催と学校との連携。上田東高校のJRC（ボランティア）班の学生4人が毎週お手伝いに来てくれています。

上田市でも様々な地域の食堂や居場所ができてきました。持続的な活動を支援できるように考えていきたいと思えます。



上田東高校JRC班の皆さんと

◆野良猫のバースコントロール（繁殖制限）事業/補正予算が可決

地域住民の皆さまの声をもとに2018年9月定例会にて財源確保策等について提案した件について、補正前620千円から補正後1,155千円の修正予算が可決されました。



保護ネコのシェルター内の様子

12月定例会 一般質問

◆上田市の目指すべき方向性

問 市長が強い思いを持って市民の皆様
に示したい上田市の目指すべき方向性は
何か。

答（土屋市長）市民の皆様が自主的、主
体的に地域課題を克服しようという力、
いわゆる市民力を高めながら、人を育て
ることや各地域の持つ卓越性を生かして、
市民総参加のまちづくりを推進していく。

◆指定管理者制度

（背景）人口減少により市民税は2014
年の約70億円から2040年には22%減の
約55億円になると見込まれている。ま
た、公共施設の今後40年間の更新、改
修にかかる費用は年平均で約73億円と
直近5年間の1.5倍。要は公共施設を縮減
及び適切に維持管理していかないと将来
世代の負担が増える一方となる。

一部の公共施設の管理運営については
民間事業者の能力を活用できる指定管理
者制度を導入しているが、その改善効果
がみえにくい施設がある。

問 指定管理料が支払われなくても管理
が成り立つ、事業の継続性がある施設は
あるか。

答（神代総務部長）147施設のうち35施
設が指定管理料を支払わずに事業を継続
できている。

一般質問の詳細は「上田市 会議録検索
システム」で検索できます。

問 事業の継続や民間等への移管、廃止
はどのように検討していくか。

答（神代総務部長）広く意見や提案を求
めるために、対象施設等の市場性等を把
握する必要があると考えており、サウン
ディング型市場調査※等の手法も検討を
している。

※民間事業者との直接対話で市場性の有
無や活用アイデアなどを把握するための
もの。2018年12月27日に岳の湯雲溪荘
（写真）で早速実施されました。



◆公共施設と商店街等との協働

問 中心市街地活性化拠点としての池波
正太郎真田太平記館の取り組みはどうか。

答（大矢商工観光部長）館内の交流サロ
ンを生かした商店街との共催等による催
しの充実ほか、観光客が増加している柳
町との相互連携による回遊を促進する仕
掛けなど、中心市街地の活性化拠点とし
て役割を果たすために、商店街とのより
一層積極的な連携を図っていきたい。

たっさんと語ろう会のお知らせ

身近な話題や市政について、飲み物片手に気軽にお話しませんか？

日 時：3月19日火曜日 19時～20時ごろ

場 所：犀の角（海野町商店街）※ワンドリンクオーダー

テーマ：議員のなり手不足や多様性について（予定）

メールまたはFAX（こちらの用紙で結構です）にてお名前とご連絡先をお知らせ
ください。後日、Facebookでもイベントを立てる予定です。

Mail: t.saito.koenkai@gmail.com お名前

Fax :0268-75-0175

ご連絡先